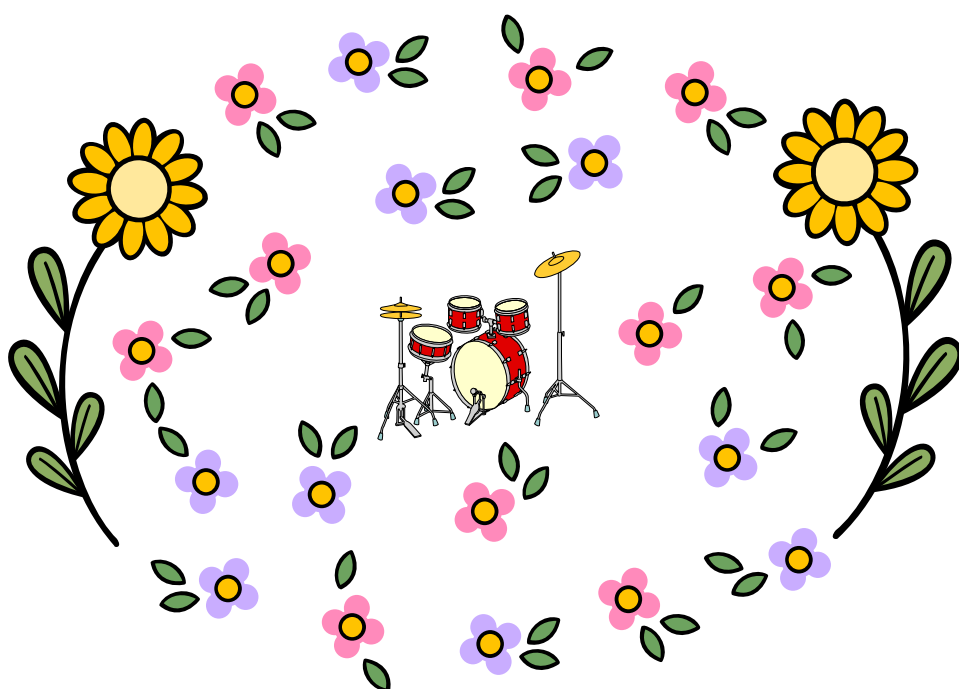




吹奏太郎



- ★ 「マーチング やってみませんか」
…石橋中学校 別井 渉
- ★ 「アンサンブルの練習法」
…副理事長 鈴木 太志
- ★ マイバンド・マイミュージック
…宇都宮音楽集団
- ★ 各支部だより(県内各支部広報部員より)
- ★ コンサートカレンダー 9月～11月

目 次

✕ 理事長 巻頭言	-----	1
“マーチングで部員が増えた”		
✕ “マーチング やってみませんか”	----	2
石橋中学校吹奏楽部顧問 別井 渉		
✕ “アンサンブルの練習法”	----	3
県吹奏楽連盟副理事長 鈴木 太志		
✕ 栃木県吹奏楽連盟 指導者クリニック報告	----	6
✕ マイバンド・マイミュージック		
宇都宮音楽集団	-----	8
✕ 各支部だより		
宇都宮・河内 & 芳賀・真岡	-----	10
足利 & 下都賀・栃木 & 下都賀・小山	-----	11
✕ コンサートカレンダー	-----	12



マーチングで部員が増えた

栃木県吹奏楽連盟理事長 石塚 武男

栃木県マーチング大会を振り返ってみて

「マーチングを始めたら部員が増えて、学校や地域、PTAから注目しされるようになった。コンクールが終わって、つらいながらも夏休み練習に励んで、県マーチング大会に楽しく出場できた。」と、参加された7校の先生方が言うのである。

2、3年前からマーチングを始めた都賀中、今年から始めた芳賀中、いずれも、まだ本格的なマーチングバンドとは言えないが、立派にフォーメーションを作り、生き生きと楽しく演技を見せていた。その他の5校はマーチングバンドとして、見劣りするものではなかった。

マーチングを取り入れたことによって、部活動に活気が出たと同時に、入部してくる生徒が増えて、7校いずれの学校も約40名の部員となり、学校の中心的存在になってきているようだ。

ちなみに部員数は、石橋中学校48名、壬生中学校42名、鹿沼北中学校43名、青藍泰斗高校40名、小南城南高校49名、都賀中学校43名、芳賀中学校35名である。

こうしたことから、マーチングを校内外や運動会で、高度なマーチングでなくとも格好いいところを見せることによって、多くの人に認められ、運営面に援助していただけるきっかけになることだろう。

マーチングを行うと音が荒れてしまう！（練習方法次第で心配なし）マーチングをする場所がない！楽器もない！フォーメーションが難しい！等と思いがちであるが、指導者の方々の努力や工夫によって何とかなるものである。

また、吹奏楽団は他の楽団にない二つの特徴として、室内楽演奏（コンサートスタイル）と屋外演奏（マーチングスタイル）の両面で活動ができるということである。すなわち、高度な音楽を奏でることができることと、華やかな演技を見せることができるということである。

これらの特徴を行かせられるよう、皆さんの吹奏楽部がパレード程度のマーチングに挑戦し、一人でも多く、音楽が好きになる子どもを育て上げることで、音楽の発展と吹奏楽連盟の発展を希望するものである。



マーチングやってみませんか？

石橋中学校吹奏楽部顧問 別井 渉

「とてもそんな余裕なんてない」「コンクールだけで精一杯」「練習場所がない」「楽器がない」「マーチングの指導なんてできない」・・・そんな声が聞こえてきそうですが、少し拙文にお付き合いを。

石橋中学校吹奏楽部がマーチング活動を始めたのは今から3年前。私自身、何度かマーチング講習会に参加して基本動作を体験したり、幕張メッセへ全国大会を見にいったことはあったのですが、まだ吹奏楽部の活動に取り入れるには躊躇がありました。

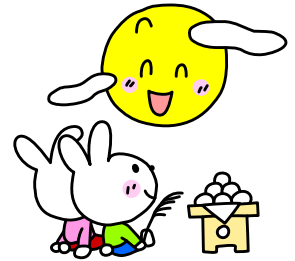
あるとき、故手塚前理事長から

「栃木県でマーチングをやっている学校はまだまだ少ない。もっと盛んにしなくちゃな～。どうだ、やってみないか。」

と言われたことがず～っと心に引っ掛かっていました。部員たちに、全日本のパレードコンテストの映像を見せたとき「かっこいいな～！吹奏楽であんなこともできるんだ。」「やってみたい！」との声。これがチャンスかなと思い、導入に踏み切ってしまった(?)のがはじまりです。

いろいろな方にお世話になり、マーチングパーカッションを調達し、講師の先生の厳しくもすばらしい指導を受け、栃木県代表として東関東マーチングコンテストに出場させていただきました。1年目という勢いもありましたが、暴風雨のなか、ずぶ濡れになってトラックから楽器を移動し、ひたちなかの体育館で演技できたことを鮮明に覚えています。他団体のレベルの高さに圧倒されて帰ってきました。

マーチング（パレードコンテスト）は、すべて生徒たちによる演技・演奏です。顧問はただドキドキしながら見ているだけ。全員の動作・演奏がビシッと決まったとき（なかなかありませんが）、座奏では味わえない感動があります。列・動きがそろっているかどうか、美しく見えるかどうかは、生徒自身でもすぐに判断でき、お互いに注意しあいながら高め合っていくことができます。全く同じ動きをしている人間はいません。少しずつ責任感・判断力・自主性・連帯感・忍耐力というものが高まってきたのかな～と思います（これが「マーチング効果」とでも言えるのでしょうか?）。保護者の方々からも「マーチングっていいですね～」との声。



現在3年生14名、2年生14名、1年生18名の46名全員で、コンクールA部門に出場し、マーチングコンテストのパレードコンテストにも出場。コンクールの課題曲と自由曲の練習と並行して、マーチングコンテストでの演奏曲を暗譜しコンテをもとに動きを覚えていく・・・。「そんなにいろいろやっているから、コンクールであの程度の演奏しかできないんだよ！」という声が聞こえてきそうですが、それはすべて私の責任です。

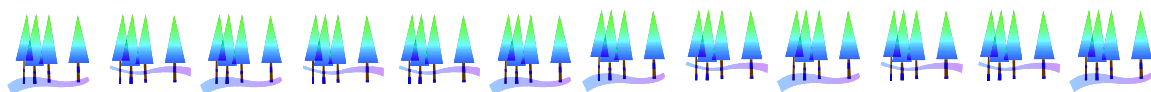
「吹奏楽部はマーチングをやるものだ」という認識も定着してきました。運動会や地域の行事などでマーチングをやらせていただく機会も増えました。「吹奏楽部って運動部だっけ？」と言われながらも、夏の暑い日差しのもと、真っ黒に日焼けしながら、汗だくになって重い楽器を持ち、演奏しながら、みんなでフォーメーションを構成してい

く。「そこ、列が揃ってないよ!」「ポイントしっかり踏めてないよ!」「しっかり正面向いて!」などお互いに声を掛け合い、ヘトヘトになりながら「辛いけど楽しい!」と笑顔で話す部員たちを見ていると、「マーチングを取り入れてよかったのかな」と思います。

確かに負担は増えますが、それ以上に、ホールでの座奏とはちがった、マーチングという表現方法でしか体験できない感動があります。少しずつではありますが、マーチングに取り組む学校も増えてきました。今までは県大会出場団体がそのまま県代表として東関東大会へ出場できましたが、これからは出場枠をめぐって県大会で落とされてしまいます。コンテストという性格上、当たり前のことですが。でも、さらにマーチングに取り組む学校が増え、お互いに高め合っていけたらいいですね。

私はまだまだ新参者ですから、マーチングについて語る資格などありません。県内にはマーチングに長く取り組んでいる指導者の方がいらっしゃいますし、県吹奏楽連盟に相談すれば、いろいろと相談にのってくれます。また、全日本吹奏楽連盟のホームページや会報「すいそうがく」で紹介されていますが、加盟団体には送料だけで“マーチングDVDⅡ「だれでもどこでもマーチング」”を送ってくれます。全国大会のDVDも売ってます。

どうですか? マーチングはじめてみませんか?



アンサンブルの練習法

栃木県吹奏楽連盟副理事長 鈴木 太志

これまでこの吹奏太郎の中で、「指導者としての心構え」「個人練習の心得」について記してきましたが、今回は、「アンサンブルの練習法」について考えたいと思います。

より良いアンサンブル演奏をするためには、個々の演奏者がアンサンブル力を身につけなければなりません。そのアンサンブル力を身につけるために、次に示す各ポイントを充分理解しましょう。

＜アンサンブル練習 7つのポイント＞

- | | | |
|--------------|-----------------|----------|
| ①正確なテンポ・リズム感 | ②正確な音程感 | ③音の長さの統一 |
| ④美しいハーモニー | ⑤アーティキュレーションの統一 | |
| ⑥フレーズの統一 | ⑦様々なバランス | |

①正確なテンポ・リズム感

- 楽譜に書かれたリズムを手でたたいたり、声で歌う。
- この練習をする際には、必ずメトロノームを使用しましょう。
- 声の場合には、長い音は tan, ton, tun、短い音は ta, to, tu 等で歌うことが良いでしょう。

②正確な音程感

管楽器の運指で演奏する各音は、ピアノ等の鍵盤楽器と異なり、それぞれの音に対する大まかな音程であるため、管楽器で正確な音程を得るには演奏者の音程感覚（ソルフェージュ力）を養わなければなりません。そのソルフェージュ力を身につけるには、声で歌うことが最も重要です。

- 音階、分散和音等、練習中の楽曲を声で歌う。
- ピアノやオルガン等で音程を確認し、何度も繰り返して歌いましょう。
- 自分の中で、より美しく大きな声で歌いましょう。（楽器の音色、響きも良くなります。）
- 金管楽器はマウスピースで練習することも良いでしょう。

③音の長さの統一

- 曲の最後の音、休符の前の音、ブレスの前の音の長さを統一する。
- 長さだけでなく発音、音処理法に対しての統一も重要です。
- スタッカート・テヌートを統一する。
- スタッカート・テヌートの長さには明確な決まりはありませんが、作品によって、その内容に相応しい長さを選びましょう。
- スタッカート・テヌートは、長さだけでなく、マルカートやアクセント等と同様に、音にニュアンスを与えるもので、プロの演奏を数多く聴きそのニュアンスを理解できるようにしましょう。

④美しいハーモニー

- 基本的な三和音の練習。（長三和音・短三和音）
- 根音を正確な音程でのばし、次に第5音、第3音の順に重ねましょう。
- 純正調では、第5音が完全5度であればやや高めにし、第3音が長3度ならばやや低めに、短3度ならばやや高めになります。

※ハーモニーディレクターで確かめたり声で歌うことが効果的です。また、美しいハーモニーを得るには音程だけでなく、各音の音量のバランスや音色を変化させることも必要です。

⑤アーティキュレーション、ニュアンスの統一

『アーティキュレーションの意味』

アーティキュレーションとは、「発音による楽想の表現の仕方」という意味です。スタッカート・テヌート・レガート等を明瞭に演奏することでフレーズやメロディーに形や意味を与えます。

- 楽譜中のアーティキュレーションを確認し、個人練習で正確に演奏できるようにする。
- アーティキュレーションに関する楽語で意味の分からないものは、必ず調べましょう。
- 全体練習でアーティキュレーションを統一する。
- 「音の長さの統一」のポイントでも触れましたが、スタッカート・テヌート・アクセント等の表現は、個々の演奏者によって違いが生じることがありますので、特に注意しましょう。

⑥フレーズの統一

『フレーズの意味』

フレーズとは、「楽句」「旋律の自然な句切り」という意味です。句読点（、）（。）で句切られる、文章の一句切りと同じように考えると良いでしょう。また、その句切り方をフレーズングといい、句切り方（フレーズング）によっては、演奏の善し悪しに影響する程重要なものです。

- 曲の各フレーズを確認し、個人練習でフレーズング感を表現できるように練習する。
- 主旋律以外の部分は、主旋律を受け持つパートの楽譜を見てフレーズの確認をしましょう。
- 全体練習でフレーズを統一する。
- 個々のフレーズングに相違点がある場合には、話し合いながら考え方を統一しましょう。
- 同一メロディー・伴奏・リズムパターン等の表現法を統一しましょう。

⑦様々なバランス

アンサンブルに限らず、音楽には様々なバランスが必要となります。特に次に示す各バランスには充分注意して演奏するよう心がけて下さい。

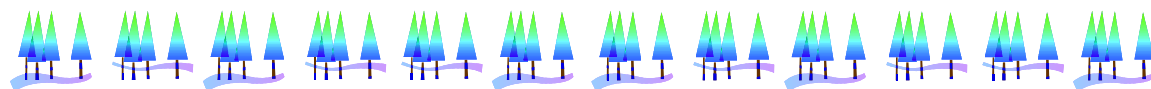
- 各ダイナミックス（fやp等）の音量を統一。
- ダイナミックスの幅には楽器によって、また個人差もあるためアンサンブル中では特に注意しながら統一したダイナミックスの表現をしましょう。
- クレッシェンドやデクレッシェンドでは、タイミングも合せる。
- ハーモニー中の各音のバランスに注意する。
- 旋律と伴奏のバランスに注意する。
- 高音・中音・低音のバランスに注意する。



◎「正確な音程感」「美しいハーモニー」の練習で、より正確な音程を得るためにチューナーを使用することも良いでしょう。しかし、常にチューナーに頼ることなく声で正確に歌えるように努力して下さい。

これらの7つのポイントは管楽アンサンブルに対するものですが、いくつかのポイントは打楽器アンサンブルにも応用することができますし、全体合奏に対しても重要なポイントとなりますので、合奏練習時にも参考にして下さい。

最後に、12月のアンサンブルコンテストのステージ上では、パフォーマンス的（客席に背を向けてまで同じ動きをする者同士が向かい合ったり、一歩前に出てソロを演奏したり等）な動きや無意味（必要以上のオーバーな動き）な動きをすることなく、アンサンブル力を身につけ観衆の楽しめる演奏となることを期待しています。



平成18年度 栃木県吹奏楽連盟 指導者クリニック報告

研修部部長（副理事長） 岩原篤男

日本吹奏楽指導者バンドクリニックも栃木県吹奏楽連盟として参加するようになり6年にもなります。いろいろな先生方が参加され全国的にも定着してきております。合歓の郷から浜松へ移行し交通の便が良くなり、より今年は今までにない参加者でした。もちろん内容も今までにない充実したものになっていました。本県からの参加者も初めての方やもうすでに数回参加されている常連の先生方などもおられ充実したものになってきました。

各会場では、積極的な質問や研修の合間では他県の先生方との交流などいろいろと展開されておりました。このような中で本県のシステムが他県や東関東吹奏楽連盟でも評価されて来ています。現在、東関東吹奏楽連盟でもこのような講習会を企画・運営するとしたらならば非常な資金が必要であると言うことを考え、指導者の研修機会として本県のシステムを参考に今後東関東吹奏楽連盟の指導者にも補助し参加しやすい方法を検討する方向になっております。以上下記のとおり今年度の指導者クリニック報告をいたします。また今年度の参加された先生方より数人の感想などを参考にいただければ幸いです。



1. 期 日 平成18年5月19日（金）～21日（日）
2. 会 場 アクトシティ浜松 静岡県浜松市板屋町111-1
3. 主 催 財団法人 浜松市文化振興財団・ヤマハ株式会社
4. 今年度のテーマ

「音楽ってすばらしい 吹奏楽って楽しい」～ひろげよう音楽するよろこびを～

5. 本県からの参加者一覧 栃木吹奏楽連盟より申込者は、18名
6. 講習内容

第1日目 各楽器別講習 (Sax: 大森義其 Cl: 佐川聖二 Tp: 佛坂咲千生)
マーチング講座Ⅰ (B.クン 米国 DCI チャンピオン・パフォーマンスタッフ)
公開リハーサル (習志野市立習志野高校)
オープニングコンサート 総合警備女子儀仗隊ビバーチェ
ステージドリルにて、作品紹介

イブニングコンサート 習志野市立習志野高校
今年度のニューサウンズを利用した演奏会

特に、パフォーマンスを工夫した盛りだくさんな演奏会

講座「饗宴」 今年度3月に行われた作品紹介や新しい作曲家の作品紹介
交流会 ホテルオークラにて、生のバンドを囲んで他県の指導者との意見や情報交換となりました。

第2日目 小学校講座Ⅰ ～小学校管楽器指導者のための総合講座

(浜松市芳川小学校: 浅野正樹) はじめて楽器を手にしたこどもたちの指導法
アンサンブル講座 市原 満 (Ob) 習志野高校の生徒をトリムバンドにして
ホップス講座 多田誠司 講習の途中からヤマハ音楽院の生徒たちとセッションが始まってしまいました。

マーチング講習Ⅱ (M. シルバスター キャデットのドリルデザイン者)

指揮法講座 保科 洋 大阪音楽大学講師などと基本から実習

合奏指導法Ⅰ 渡邊秀之 「JBCバンドスタディ」の活用法

楽器別講座 (Tp: 佛坂 Fl: 山元康生)

スペシャルコンサート オクラホマ州立大学ウインドアンサンブル
オリジナルからアレンジそして新譜と幅の広い演奏会でした
アンコールもなりやまず数曲演奏し終わったのが9時過ぎ。

第3日目 合奏指導法Ⅱ 保科 洋 愛知工業大学名電高等学校
小学校講座Ⅱ 高須 一 発表「子どもと管楽器の出会い」の視点で、授業
における管楽器活用や研究実践について

ファイナルコンサート

水戸市立笠原小学校 非常に盛り上がり小学校とは思えない演奏と共にかわい
らしいパフォーマンスを披露

愛工名電高校 会場へのアピールがうまく会場と一体に

浜松交響吹奏楽団 大人らしく力強い演奏で新しい作品紹介（八木澤等）

※ 年々、講座の内容等が充実してきています。又、非常に多くの楽譜やCD・DVDや楽
器など多くの資料が展示されていました。大変勉強になる3日間でした。

----- 参加者の感想 -----

矢板中学校 戸村 真一教諭

今年度は、クリニックの日程と市の行事「つつじ祭」と運良く別の週にということで
参加が可能になった。例年、「つつじ祭」で演奏をしているのでそちらの予定が優先とな
ってしまい、参加できないでいた。

まず、参加して驚いたのはたくさんの人、人、人！こんなにもたくさんの吹奏楽指導
者が一同に会するのはこのクリニックの特徴らしい。そして、あちらこちらに全国大会
等に出場している団体の顧問や指導者の姿も見えた。

特に参考になったのは、指揮法講習会。保科洋氏による基本的なテクニックと表現力
アップをめざしたもので、非常に参考になった。

日光高校・日光明峰高校 坂本 光子教諭

私は、今年で3度目の参加となります。

今年は、浜松会場2回目の年でした。内容もとても充実していて毎年来て良かった、
またがんばろうという気持ちで終わることになります。

今年、最も感銘を受けたのは 淀川工業高校の丸谷先生のお話でした。

「毎日がしんどい！ ここぞという時のがんばれた人が前に進める」「部員が多くても
少なくとも 悩みはあるもの…」等、勇気づけられるお話でした。

何よりも 先生の音楽への情熱、生徒への愛情を強く感じました。

「自分ができることを一生懸命にやる、先生が一番がんばってしまう、それで良い。」

というお話に、日頃 不安を抱えて活動している私は、これからの自分の道に光が灯
されたような気がしました。丸谷先生の今後の益々のご活躍をお祈りし、私もがんばり
たいと思い浜松を後にしました。

小山城南高校 山本 伸子教諭

3年ぶりに参加したバンドクリニックは、音楽の街 浜松での開催、しかも駅に隣接
した会場で、交通の便がよく合歓の郷に比べると参加しやすかったです。

内容は、全体的には3年前と変化ありませんでしたが、邦人新人作品の紹介などが目
新しかったと思います。

また、オクラホマ州立大学の吹奏楽が、最近の日本のバンドが忘れかけていた重いプ
ログラムをしっかりと演奏するというのを重いださしてくれた。うれしい演奏でした。

宇都宮音楽集団

○団長 水内孝至

○常任指揮者 鈴木太志

♪ 団のフロフィール



◇沿革

宇都宮音楽集団の前身は、宇都宮大学管弦楽団の管打楽器セクションが1987年に管楽演奏会を開催したことがきっかけとなり、その後、卒業生を加えて結成した宇都宮大学管弦楽団員・団友音楽集団です。1992年、メンバーをそれまでの学生のみから一般社会人へとひろげ、名称も宇都宮音楽集団へと改めました。今年で結成14年目を迎え、現在の団員は、会社員や公務員、主婦、学生など10代から40代までと広がりました。中学、高校など学生時代の吹奏楽キャリアは皆様々ですが、栃木県内はもとより県外からも活動に参加する団員がいるほど、吹奏楽大好きな仲間が集まって演奏活動を行う一般バンドです。

◇主な活動

今年から6月開催となった定期演奏会を最大の行事とし、その他に自主公演のミニコンサート、吹奏楽コンクール参加、中学・高等学校や施設等での依頼演奏、各種イベント参加など、年間を通して地域に密着した精力的な活動を行っています。また、これら一つ一つの行事を成功させるため、そして合奏力の向上を目標に、毎週2回、水、日曜日に宇都宮市文化会館や地区市民センターで練習を行っています。

平成17年活動記録

- 3月 宇都宮市競輪場フェスティバル 依頼演奏
- 5月 宇都宮音楽集団第13回吹奏楽演奏会
(栃木県総合文化センターメインホール)
宇都宮市民芸術祭軽音楽祭(MIYAストリートギグ) 参加
- 7月 姿川地区まちづくりコンサート 依頼演奏
- 8月 第47回栃木県吹奏楽コンクール
- 10月 ロマンティック村 市民の広場 出演
- 12月 クリスマスチャリティコンサート (平石地区市民センター)
日光教会 クリスマス音楽会 出演

◇指導

創設時より、鈴木太志先生に常任指揮者としてご指導頂いています。先生は、栃木県吹奏楽連盟副理事長としてご存じの方も多いと思いますが、ファゴット奏者として、プロのオーケストラや吹奏楽団、アンサンブルなどで活躍される一方、全国の多くのアマチュアバンドの指導や編曲活動もされています。先生には、演奏技術、音楽性、合奏力向上に関してももちろんのこと、音楽の楽しみや演奏することの喜び等、プロの音楽家ならではのご指導を頂くことも多くあります。また、ときには団員の人生相談までアドバイスをいただくなど、団員の兄貴、父親的存在としても音楽集団には無くてはならない大きな存在です。

また、プロの吹奏楽団シエナウインドオーケストラのファゴット奏者 鹿野智子さん(鈴木先生の御弟子さんです。)には、テクニカルアドバイザーとしてご指導頂いています。鹿野さんは、私たちの演奏会と一緒に出演して下さったり、また、コン

クール等本番前には、演奏を厳しくチェックしてください。団員の中には、鹿野さんのファンが多く、シエナウインドオーケストラの横浜での演奏会に毎年足を運ぶ団員も多くいます。(佐渡裕&シエナウインドの演奏会は本当に素晴らしいですよ。皆さんもぜひ一度生で聞いてみてください。)

♪演奏会



◇定期演奏会

今年は6月18日(日)に、14回目の定期演奏会を栃木県総合文化センターで開催しました。毎年、この最大行事のプログラムは、お子様層からご年配層まで、幅広い方に楽しんで頂けるよう、様々なジャンルの音楽と内容を企画します。その中でも、ここ数年、音楽物語(語り、歌、合唱、映像などと吹奏楽との共演)として、「窓ぎわのトットちゃん」「宇宙戦艦ヤマト」「葉っぱのフレディ」「スノーマン」「となりトロ」などの作品を取り上げ好評を得ています。

◇ミニコンサート

ここ数年、練習場としてお借りしている宇都宮市内の地区市民センターで、センターや地域の皆様に日頃の感謝の意味を込めてミニコンサートを開催しています。特に毎年12月のクリスマスチャリティーコンサートでは、A. リードの「クリスマスセレブレーション」を、高校生、大学生、一般などの合唱団の協力をいただき演奏しています。お客様を身近に感じながら、毎年いろいろな合唱団とその年最後の演奏ができることに大変喜びを感じています。

♪コンクール



1990年以来毎年参加し、今年は3年ぶりに栃木県大会で代表となり、東関東大会へ出場することになりました。

私たちがコンクールへ出場する目的は2つあります。一つは、中学生、高校生をはじめとする多くの方に私たちの演奏を聴いて頂ける貴重な機会であることです。今年の県大会は、高校部門と同日開催であったため、満員の高校生の前で演奏することができました。高校生が、私たちの演奏をどのように感じて下さったか分かりませんが、「今度は演奏会も聞いてみたい」とか「卒業したらあのバンドへ入りたい」とか一人でも思ったださる方がいたとすれば大変光栄です。もう一つは、課題曲と自由曲という2曲をじっくり練習し、曲の完成度を高めて演奏発表できることです。演奏会等では曲数が多いため、一つの楽曲にかけられる時間も限られ、また理解度や練習密度を高めることも容易ではありません。今年は、東関東大会へ出場できるということで、県大会での審査の先生方のアドバイスを参考に、さらに演奏技術や音楽性を高める機会を得られことに喜びを感じています。

♪終わりに



私たちの活動の一部を紹介したわけですが、まだまだ発展途上のバンドです。これからも、地域の皆様に愛される一般バンドを目指して精進していきたいと思います。また、これを読んで下さった中学・高校生の皆さん、進学、就職してもぜひ吹奏楽を続けて下さい。大人になってからも、吹奏楽をやっていて良かったと思う場面はたくさんあります。そして、少しでも宇都宮音楽集団に興味を持って下さった方は、将来、私たちと一緒に活動してみませんか？

MY BAND・MY MUSIC … END

♪ 各支部だより ♪

〔広報部員名〕

宇都宮・河内支部 〔県立上三川高・細野 美樹、宇都宮市立明治中・中島 麻紀〕

県の吹奏楽コンクールが一段落しましたが、みなさまいかがお過ごしですか？

今年度、本校の吹奏楽部はとちぎ文化財団主催の「マロニエ・プラスサウンドクリニック」を受講しています。内容としては、年4回プロの演奏家3名に来校していただき指導していただくというものです。7月・8月と2回ご指導いただきました。

講師の先生方から様々なアドバイスをいただきました。参考までにその一部をご紹介します。

- ・ただ吹くのではなく響く音をイメージして吹くこと
- ・音程を合わせること（特にユニゾン・オクターブの主旋律）
- ・ダイナミクスをもっとつけないと平坦でつまらない演奏に聞こえる（大きく派手に演奏するところと小さくきれいに演奏するところの区別を）
- ・キメたい音の手前が大きくなってしまったり肝心の音が弱くなってしまったり
- ・第1・3・5音のバランスをもっと整えること（曲をとおしてやった方がいいが無理ならば目立つところだけでも）
- ・テヌート・アクセント・スタッカート吹き分けをする（タンギングではなく息で）
- ・ブレスの前の音の処理を気をつけること（長い音が張り過ぎている）
- ・「何がしたい」「こう吹きたい」という目的を持ってやらないと聴衆に何も伝わらない
- ・指揮に合わせる前に自分たちがお互い聴きあって合わせること

以下はクリニック後の生徒の感想です。

「いろいろ教えてもらえてとても勉強になりました。毎日練習に励むようにと言われて『頑張らなくてはい！』と思いました。もっと良くなると期待されているのかなと思うと少し嬉しかったです。もっと上を目指そうという気が起こってきました。」

（部長 町田 笑梨）

講習の最後に講師の先生（Tb 渡辺善行氏）がおっしゃった言葉がとても印象的でした。「みんな音楽を楽しんでやっていていいですね。でも、もっと吹けるようになったらもっともっと楽しいので、頑張ってくださいね。」

また来年に向けて頑張りましょう！東関東大会を控えている皆様、頑張ってください！！

♪ 芳賀・真岡支部

〔真岡市立大内中・柳 百合子〕

♪吹奏楽コンクール金賞受賞♪

7月末から8月上旬に行われた県吹奏楽コンクール。本地区からは下記の学校が金賞を受賞し、○印の学校が東関東大会に出場することができました。次の大会でも美しい音色を披露して、会場を湧かせることでしょう。

★小学校部門 真岡市立真岡中学校

★中学校B部門 ○益子町立七井中学校 ○茂木町立逆川中学校 真岡市立真岡中学校

★高等学校A部門 ○栃木県立真岡女子高等学校

★高等学校B部門 ○栃木県立真岡高等学校

足利支部

〔足利市立山辺中・中村 保子〕

夏休みに入り、じっくりと吹奏楽の練習に取り組もうとしているうちに、あっという間にコンクール当日になってしまいました。コンクールでの感想と今後の活動について書いてみました。

私達は1年間、いや、3年間、このコンクールに向けて、日々、練習に励んできました。

4月、1年生が入部してから3ヶ月、いろいろなことがありました。部内のもめごとやぶつかりあいなど、練習はもちろんですが、それ以外の悩みも多くありました。その都度ミーティングをひらき、解決してきました。そして、より一層部員の絆は強くなりました。

コンクール本番は、緊張しながらも、ピッチ、ブレス、ハーモニー、表現・・・と様々なことを考えながら必至に演奏し、気がついたら演奏が終了していました。必ずしも納得のいく演奏ではありませんでしたが、なぜか涙が出てきました。忘れられないコンクールになりました。

これからは、地区体育祭の行進曲、学校音楽祭、文化祭の演奏に向けて、基礎から練習を積んでいきたいと思っています。

下都賀・栃木支部

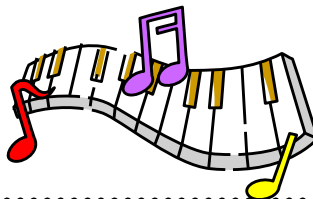
〔藤岡町立藤岡第一中・黒野 篤代〕

今年の夏は長雨のため、日本各地で豪雨の被害が報道されました。お見舞い申し上げます。そんな中、下都賀・栃木支部も吹奏楽フェスティバルが開かれました。藤尾先生をお迎えしてのクリニック。今年は今までになく参加団体が多く、10:00~17:00まで藤尾先生には休憩を十分に取っていただく暇もないくらいのスケジュールでした。生徒もホール練習をのぞけば、大きな舞台での演奏も初めて。緊張が伝わってきましたが、そんな緊張の中、有意義な一日を過ごすことができました。

それから1週間後、コンクール当日。閉会式の理事長先生のお話しの中に「仲間がいたからがんばれた。」という言葉がありました。辛いときも楽しいときも隣の人がいた。けんかをしたことも、いさかいもあっただろうが、今この舞台に立てるのは仲間がいたからこそ。私はそのお話に感銘を受けました。

本校の3年生の引退時期は学校祭です。

運動部は「試合に負けたら引退」ということが多いけれど、吹奏楽部はそうではない。最後まで「自分に負けないで」がんばって欲しい、と言う気持ちで帰途につきました。



下都賀・小山支部

〔下野市立石橋中・坂本 美保〕

マーチング三年目

石橋中学校DM 宮腰 瞳

石中がマーチングを始めたのは、ちょうど私たちが入学した年でした。私は1、2年生の時バスドラムをやっていました。そのころの私にとって、バスドラムはとても重くて慣れるまで大変でした。先生にきつく注意を受けたり指導されたりして、泣きそうになったこともありました。

そして私は今年から、マーチングのリーダーであるドラムメジャーをやることになりました。今までやってきたバスドラムより、もっともっと大変なものでした。バトンや笛を使っのサインを覚えたりトワリングの練習など、不器用な私にとって難しいことばかりでした。でも、最近ではバトンをやるのが楽しくなってきた、やりがいを感じるようになりました。

少しでも長く、皆とマーチングができるよう、東関東大会に向けてこれからも練習に努めていきたいと思っています。

佐野支部

〔佐野市立犬伏小・鈴木 美佐子〕

(都合によりお休みします。)

塩谷・那須支部

〔那須烏山市立荒川中・滝 緑〕

(都合によりお休みします。)

上都賀支部

〔日光市立東原中・大藤 正嗣〕

(都合によりお休みします。)

2006年 **9月** **コンサートカレンダー**

栃木県吹奏楽連盟

日	曜	項 目	備 考
24	日	バスブレーザー第1回演奏会 とちぎ福祉プラザ多目的ホール 13:30開場 14:00開演 入場無料 ♣ゲスト：侘美秀俊(作曲家) 山戸宏之(Euph)	
25	月	下都賀地区学校音楽発表会 10:00開演 栃木市文化会館 大ホール	

2006年 **10月**

日	曜	項 目	備 考
1	日	東京佼成ウインドオーケストラ演奏会 那須野が原ハーモニーホール 14:00開場 15:00開演 ※後援 栃木県吹奏楽連盟 〔問い合わせ 黒田原中学校 君島 茂〕	
5	木	足利地区学校音楽祭 足利市民会館大ホール開演 9:30 入場無料 ♣足利市内の小・中・高による、合唱、合奏の発表	

2006年 **11月**

日	曜	項 目	備 考
11	土	第3回 石橋中学校吹奏楽部定期演奏会 14:00開演 下野市グリムの館	

「マイバンド・マイミュージック」次号は、

“作新学院高等学校吹奏楽部”を予定しています。

